

令和6年度 第2回たつの市行財政改革推進委員会

－ 会議録 －

日 時：令和7年3月19日（水）午後1時30分～午後3時15分

場 所：たつの市役所新館4階災害対策本部兼大会議室

出席者：委員12名、市職員7名

1 会議内容

(1) あいさつ（市長、会長）

(2) 議事

①令和6年度の行財政改革の取組状況及び令和7年度当初予算の概要について

②公共建築物再編実施計画の改定について

【議事①】 令和6年度の行財政改革の取組状況及び令和7年度当初予算の概要について (P1～29)	
事務局より、取組状況等の説明を行い、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。	
委員	資料13ページの人口に関して、たつの市の現在人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を上回っているものの、平成27年にたつの市が設定した人口ビジョンの目標値（2025年74,000人）には届いていない状況です。このことについて、2点確認します。 1点目、目標出生率1.8に対して、現在の実績値はいくらですか。 2点目、晩婚化の進行への対応について、他の自治体では専門部署を新設するなど、危機感を持って結婚対策に取り組んでいる事例もあります。今後の行財政改革推進の中で人口対策の視点が必要と考えますが、たつの市における令和7年度以降の取組方針を教えてください。
事務局	1点目について、本市の直近の出生率は1.34で、低下傾向にあります。出生数も年間400人を割り込み、今年度も同様の傾向が続いており、人口減少の要因となっていると感じています。 2点目の結婚対策について、地方創生の取組を始めた平成27年には、市が独自に婚活事業を展開し、イベント等を実施していました。また、平成28年には、宍粟市、佐用町、上郡町と定住自立圏を形成し、それ以降は構成市町が中心となって婚活事業を展開しています。 さらに、たつの市商工会議所や国民宿舎志んぐ荘も独自で婚活事業を実施しており、様々な主体が取り組んでいる状況です。 市としては、こうした事業に対し後援するとともに、来年度は婚活コーディネーターを招いたセミナーを開催し、側面的に支援していきたいと考えています。 今後は、直接的な婚活事業の主催や婚活アプリ・AIを活用した支援の可能性について研究し、次の展開を検討していきます。
委員	マッチングアプリを利用して結婚される方も多いため、婚活アプリに対する補助の検討もお願いします。また、離婚率が増加している中、バツイチ同士の婚活やマッチングの機会が少ない状況です。これらの取組を進めることで人口対策に

	<p>もつながると考えますので、併せてご検討ください。</p> <p>次に、資料11ページの自主財源の確保についてです。現在、たつの市ではポータルサイトの充実などにより、多くのふるさと応援寄附金を受け入れています。以前の議会では、「これ以上、ふるさと応援寄附金を市の財源として確保することには限界がある」との答弁がありました。そのような中、クラウドファンディング（特定の目標に向けて寄附金を集める手法）を活用し、寄附金を獲得している自治体もあります。たつの市として、この手法についてどのように考えているのか、ご意見をお聞かせください。</p>
事務局	<p>資金の獲得方法の一つとして、ガバメントクラウドファンディングという手法があります。これは、個別具体的な事業を設定した上で、寄附金が集まらなくても事業を実施し、完了させることができる仕組みであり、有益な手法の一つと考えています。</p> <p>しかし、現時点では、どのような事業を対象に賛同を募るのかは未定です。</p>
委員	<p>交流人口を増やすことは重要であり、現在、市では商工会議所等と連携し、創業支援事業を実施し、内容拡充も進められているところですが、2号店・3号店への支援についても検討をお願いします。</p> <p>そうすることで、創業のハードルを下げることにもつながるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>現状では、事業の継承（継業）の方が課題として大きいと考えており、その点も含めて総合的に検討していきたいと思えます。</p>
委員	<p>来年度からは、本竜野駅周辺の商業地域における創業支援を強化すると伺っています。また、産業振興センターを除却する予定とも聞いています。</p> <p>駅前が大きく変わろうとしている中、駅周辺での新たな補助についても検討していただければ良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>資料1ページのインフルエンサーを活用した情報発信についてですが、インフルエンサーには謝礼を支払っているのでしょうか。</p> <p>また、マイナ保険証について、マイナンバーカードの保険証利用登録の解除を受け付けている自治体があります。県内では、太子町をはじめ26市町が周知しているようですが、たつの市ではどのように対応していますか。</p>
事務局	<p>インフルエンサーへの謝礼は発生しています。謝礼の額については、インフルエンサーのフォロワー数などによって変動すると聞いています。</p> <p>マイナ保険証の登録については、国の施策として取り組んでいるため、自治体が主体的に「解除してください」と周知することはないはずですが、利用に不安を感じた方が個別に解除申請を行っている状況かと思えます。本市でも、「解除を推奨する」といった周知は行っていません。</p>
委員	<p>利用登録を解除したい人がいれば、申請しても良いですか。</p>
事務局	<p>申請可能です。</p>
委員	<p>インフルエンサーによる投稿とたつの市の情報管理サーバーは完全に切り離されていますか。</p> <p>TikTokは中国の企業が運営しているため、切り離されていない場合、セキュリティ面で危険があると感じています。</p>
事務局	<p>市のInstagram等のアカウントはリンクされていますが、市の情報管理サーバ</p>

	<p>一とは切り離されています。そのため、インフルエンサーが本市に関する情報を投稿しても、情報漏洩は生じません。</p>
委員	<p>資料13ページの人口について、たつの市は定住人口を減らしたくないのか、一時的な人口を増やしていきたいのか、どのような考えをお持ちでしょうか。</p> <p>10年前に、たつの市まち未来創生戦略を策定された際、将来、日本の人口が半減する中、たつの市は人口6万人を維持できるようにしていきたいと説明されていました。</p> <p>しかし、私は、たつの市には魅力がなく、目玉となるようなものがないため、住みたいとは思いません。人を引き寄せるようなものが何もないのが現状です。</p> <p>働く場所もなく、定住人口を増やしたいのであれば、働く場所が必要ですが、たつの市にはありません。企業の撤退も増えてきています。</p> <p>龍野IC周辺にコストコを誘致しようとしているようですが、一時的に買い物客が増えるだけで、市民にとっては迷惑であり、メリットは感じられません。コストコに来る市外の方は、他の市内の施設でお金を使うことはないでしょう。</p> <p>最近、姫路市ではロピアが出店し、多くの人が訪れていますが、周辺施設には足を運んでいないと思います。加古川市の百貨店内にもロピアがありますが、ロピア内は多くの人で賑わっているものの、百貨店の中にはほとんど人がいませんでした。</p> <p>先ほど、結婚対策についての説明がありましたが、シングルマザーの方々は生活に困っており、夫婦が困っているという話はあまり聞きません。しかし、シングルマザーは稼げる地域に移ってしまうのが現実です。</p> <p>たつの市民として考えた時、楽しいものが何もなく、都会の方々からはスローライフがあると言われるそうですが、私たちは毎日がスローライフであり、特別なメリットを感じません。これを打破するものがあれば良いのですが、たつの市がどこにあるのか尋ねられることが多いのもその一因です。</p> <p>もし、このまま何も変わらなければ、たつの市はなくなり、姫路市に吸収されてしまうのではないかと危惧しています。私は、自治体の合併が進むと行政サービスが低下するため、望んでいません。</p> <p>たつの市をこのまま維持していこうとするのであれば、根本的な改革が必要だと思います。目先のことだけを考えて対応してはいけません。</p> <p>例えば、赤とんぼ荘を活用して道の駅にし、看板商品を開発すれば、今であればたくさんの方が訪れると思います。たつの市を恒久的に残していくためには、何らかの魅力を生み出す必要があります。</p> <p>現状では、たつの市には何もありません。笑い話かもしれませんが、野見宿禰の墓所くらいしか思い浮かびません。姫路市には姫路城がありますが、それを活用して何かしようとしているわけでもありません。</p> <p>このままでは厳しい状況だと感じます。</p>
事務局	<p>委員それぞれの価値判断に基づいた、ご意見だと受け止めさせていただきました。行政の役割は、市民の皆さんがそれぞれの幸せを感じていただける「まち」をつくるのが理想だと思います。</p> <p>例えば、高齢者の方々が都会を好むかということ、一般的には好まないと思いますし、私も同じです。役所は、市民の皆さんが望む形でまちづくりに取り組んで</p>

	<p>いく必要があります。そのために、アンケート調査やこのような会議の場で意見をいただきながら、多くの方が望む形で努力していくのが基本だと考えています。</p> <p>次に、人口増加の話ですが、人口を増やそうとしているわけではありません。私たちの考え方は、想定される人口減少幅をできるだけ緩やかにし、維持しようとするものです。これは全国的にも同様の考え方です。</p> <p>本市の合計特殊出生率は1.34ですが、全国平均は1.2台です。そのため、たつの市や姫路市など、各自治体がいくら努力しても人口は増えません。</p> <p>佐用町では、人口が減少しても、それぞれが幸せを感じられるまちを目指す「縮充」の取組が先駆けて進められています。</p> <p>一方で、人口減少により商業圏が縮小し、店舗や企業がなくなると、様々な弊害が出てくるため、これを阻止するための施策が必要だと考えています。また、ある程度の人口規模がないと、行政サービスの維持が難しくなるため、行政としてできることを着実に取り組んでいきたいと考えています。</p>
委員	<p>資料15ページに記載されている令和7年度当初予算の規模は、過去最大の大型予算となっていますが、令和8年度以降の2～3年間の見通しについては、どのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>令和7年度当初予算の中には、学校関係の建設経費が多く含まれています。</p> <p>例えば、新宮地域の小中一貫校については、令和10年度の開校に向けて、来年度から建設が始まり、令和9年度までの整備を予定しています。今後4～5年は、大規模な予算編成を行う予定です。</p>
委員	<p>今後4～5年は目途が立っているということですか。</p>
事務局	<p>はい、そうです。</p>
委員	<p>全体的な予算について、令和7年度が大規模な予算となるとの説明がありましたが、委員の皆さんは、今後の予算の執行方針や今後も予算が増加していくのかといった見通しについて、詳しく知りたいと感じていると思います。</p> <p>予算は、市内部で検討が進んだ後に私たちに説明されるため、委員の意見を反映することが難しいのが現状です。そのため、令和7年度を含め、今後4～5年間でどの分野に重点を置いて事業を進めるのかといった方向性を次回の会議で示していただきたいと考えます。</p> <p>また、資料には、令和7年度に実施される学校関係の整備や龍野IC周辺整備など、様々な投資事業が記載されていますが、今後の計画を含めた投資事業全体の説明をお聞かせください。この説明がなければ、令和7年度の予算内容だけを聞いても、私たちはただ説明を受けるだけとなり、審議を行う委員会としての役割を果たせません。</p> <p>さらに、資料24ページに記載された投資事業のうち、人工芝多目的グラウンド整備事業は約3億円、竜野駅周辺整備事業は約10億円、龍野IC周辺まちづくり区画整理事業は約4億円の予算額となっています。</p> <p>一方、たつの市の玄関口である本竜野駅周辺中心市街地に関する予算額は約</p>

	<p>7,000千円であり、進捗が緩やかに見受けられます。この事業の今後の見通しについて明確に示していただかないと、議論を深めることができません。</p> <p>地域の方々は「やっと動くのか」という思いを抱いていますが、今後どのように進んでいくのか、何年後にどの程度進捗するのか、どのエリアまで整備されるのかが不明です。このままでは、地域の方々へ十分な説明をすることができません。構想段階から地域住民との意見交換を重ねながら進めていただけるとありがたいです。</p> <p>一方で、竜野駅周辺整備事業については、時間と費用を要していることは理解していますが、本竜野駅周辺の整備も同様に重要だと考えています。計画をしつかりと前に進めていただきたいと思います。</p> <p>資料7ページの使用料等の改定についてですが、前回の会議で説明を受け、改定が決定し、厳しい状況の中でも実施しなければならないことだと理解しています。</p> <p>しかし、これと並行して、人への投資や手当の見直しについても検討していただきたいと思います。人口減少が進む中、自治会では役員の担い手不足が深刻化しており、ボランティアとしての活動が難しくなっています。特に、雑用が多く負担が大きいことが敬遠される要因となり、各自治会では隣保長を引き受ける人がいない状況が生まれています。自治会と行政が連携していく中で、令和7年度から大規模な予算が編成されるのであれば、自治会の人的資源や予算の見直しも併せて検討していただきたいと思います。</p> <p>予算が配分されたからといって、すぐに課題が解決するわけではありませんが、自治会の運営には財源が不可欠です。事業を縮小する場合、自治会費の削減を求める声も多くあります。地域活性化を進める中で、地域で尽力されている方々へ何らかの形で感謝の気持ちを示す仕組みが必要ではないでしょうか。</p> <p>また、単位自治会への直接的な支援は難しいかもしれませんが、各地域の連合自治会に対して、市役所OBや連合自治会の役員経験者などが事務局を担う仕組みを検討し、今後の予算編成に反映していただきたいです。これにより、各自治会長の事務負担を軽減できるのではないかと思います。</p> <p>さらに、人口構成の変化により高齢者の割合が増加し、独居高齢者や要介護者が増加する中、それらに対応している社会福祉協議会などの団体に対しても、適切な手当の増額を検討する必要があると思います。担い手が減少すれば対応が難しくなるため、今のうちに半官半民の団体に対して、手厚い支援策を講じていただきたいです。</p>
委員	<p>本竜野駅周辺に関する予算についてですが、今後開発を進めていくことは理解しています。具体的にどのような目的で事業を実施しようとしているのかをお聞かせください。</p> <p>市全体のマスタープランに基づき、各地域の魅力向上を図るための施策として位置づけられているのか、それとも、駅周辺が長年手つかずの状態であるため、何らかの対応が必要であるという理由で進められるものなののでしょうか。</p>
事務局	<p>本市の最上位計画として総合計画があり、その関連計画として都市計画マスタープランが策定されています。計画では、各地域の核を生かしたまちづくりが掲げられていますが、在来線の玄関口である本竜野駅周辺は、現在のままでは寂し</p>

	<p>い状況です。</p> <p>当初、市が主導して宿泊施設の誘致に取り組んでいましたが、現在は民間主導で進められています。また、産業振興センターの老朽化も踏まえ、新たなまちづくりの核となる事業として取組を開始したところです。</p> <p>以上のことから、本事業は計画に基づく取組であると同時に、周辺環境の変化を踏まえ、機が熟したと判断した上でスタートしたものですので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
委員	<p>本竜野駅前に宿泊施設の計画があるとのことですが、これは需要を見込んだものなののでしょうか。それとも、宿泊施設を核とした何らかの事業展開を想定しているのでしょうか。宿泊施設の計画が持ち上がった経緯についてお聞かせください。</p> <p>マスタープランの概要については理解しますが、宿泊施設を設置することの魅力や意義が明確に見えてきません。ただ「場所が空いているから」「駅前だから」といった理由に基づくものなのか、それとも別の目的があるのか、ご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>宿泊施設の計画は、民間所有の土地に建設が予定されており、民間事業者はビジネス利用の需要が高いと見込み、建設を計画しています。</p> <p>また、関係・交流人口の創出という観点からも、宿泊施設の整備による経済波及効果が期待されます。本竜野駅周辺は、本市で唯一の商業地域であることから、積極的に商業集積を進める地域です。その一環として、創業支援に関する補助金を上乘せし、事業者の誘導を図りながら、今後のまちの活性化の拠点、さらには起爆剤となるような取組を進めようとしています。</p>
委員	<p>相生駅前に宿泊施設がありますが、儲かっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回、建設を検討している事業者の話では、姫路市ではすでにホテルが飽和状態にある一方、たつの市では市内企業のメンテナンスや点検などのビジネス利用の需要が高い状況にあるとのことでした。</p> <p>また、たつの市は姫路市に比べて宿泊単価を安く抑えられるため、採算が十分にとれるとの試算があると聞いています。</p>
委員	<p>姫路市ではホテルが飽和状態にあるため、周辺のたつの市であれば宿泊単価を安く抑えられるという考え方ののだと思います。しかし、その場合、必ずしもたつの市である必要はないのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>姫路市ではホテルが飽和しており、本竜野駅前が宿泊施設の適地かどうかは分かりません。しかし、事業者が、宿泊者の目的地がたつの市であることを調査した上で、建設を検討していると聞いています。</p>
委員	<p>宿泊施設の建設が、たつの市の発展や魅力づくりに結び付く要素になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>民間事業者の活動であるため、市が直接介入することはできませんが、宿泊施設が立地した場合、経済波及効果が期待できます。</p> <p>例えば、建設工事費や食材の調達において地産地消が進むことがあります。また、宿泊者による経済的支出も見込まれます。一方で、マイナス面があるかもしれませんが、通常はプラスの評価がされることが多いと思います。</p>

<p>【議事②】 公共建築物再編実施計画の改定について（P 30～36、別冊）</p>	
<p>事務局より、改定内容を説明し、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。</p>	
委員	<p>資料4の11ページに記載されている新宮中学校の再編方法について、「令和10年度に集約化し、令和11年度には新宮スポーツセンターとして活用予定」とされていますが、単なるスポーツ施設ではなく、特色のある施設にするべきだと思います。地元住民や各種スポーツ団体と協議を重ねた上で、どのような施設にすべきかを決定し、令和11年度に向けて計画を進めていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>地元の意見を十分に聞いた上で、事業を進めていくことが重要だと思います。先ほどの本竜野駅周辺整備については、宿泊施設の建設など周辺環境の変化を受けて、ようやく複合施設の検討が始まることとなります。まずは、基本構想を策定し、大きな方向性を示した上で、地元の方々にも意見を聞きながら事業を進めていくことがスタートラインだと考えています。</p> <p>事業の進捗に際しては、特に大きな事業については意見を反映させながら進めています。新宮スポーツセンターの再整備に関する進め方の詳細は、まだ把握していませんが、事業化に際しては地域に大きな影響があると考えています。</p> <p>そのため、地元説明会など、どのような形になるかは未定ですが、地域の意見をしっかりと聞きながら事業を進めていくものと認識しています。</p>
委員	<p>是非、地域の意見を聞きながら進めていただきたいと思います。</p> <p>また、議事（1）で来年度に廃校となる学校施設について、「（仮称）たつの市学校等跡地施設利活用方針」を策定し、利活用方策を検討するとお聞きしました。</p> <p>新宮地域では、小学校4校が廃校となります。都市計画区域外に位置する小学校2校は特に問題ありませんが、市街化調整区域に位置する2校については、民間企業などが活用できれば良いのですが、法規制があり、なかなか進めにくい部分があると思います。</p> <p>市議会からも、自民党に対して法規制の緩和等を要望していますが、法規制があるため、活用が難しい部分があるかもしれません。それでも、どのような活用ができるのかを地元にとしっかりと周知していただきたいと思います。</p> <p>また、市街化区域と市街化調整区域に関する議論がよく出てくる中で、市街化調整区域を市街化区域に編入してほしいという意見をよく聞きます。そのようにできれば良いですが、一方で、現在、市街化区域に指定されている土地をもっと市街化していくべきではないかと思います。</p> <p>市街化区域の中には遊休地が多く、活用されていない土地が多いように思います。市が市街化区域の遊休地を積極的に購入し、民間事業者などに売却することも一つの手法ではないかと思います。</p> <p>東京では、民間の不動産会社やゼネコンが遊休地を開発しています。そのような手法を取り入れ、市街化区域をさらに市街化していくことが、立地適正化計画においても求められているのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在の経済情勢や、本市の土地開発公社が解散した状況を踏まえると、市が土</p>

	<p>地を買い取り、分譲や整備を行うのは、現代の時代背景からすると行政が積極的に行うべきではないと考えます。</p> <p>一方で、ニュータウン等の再生については、UR 都市機構がテコ入れしている事例もあります。市街化区域の市街化については、大きな課題であるとは思いますが、行政が積極的に介入することについては慎重であるべきだと思います。</p> <p>また、国では制度改正により相続登記が義務化され、将来的な土地の在り方が課題として浮上してくると認識していますが、市としてどこまで関わっていくべきかについては、申し上げることができませんので、ご了承ください。</p>
会長	市側から、委員の皆さんへご意見等がありますか。
事務局	<p>今年度、旧県営鯨崎住宅跡地（市有地）を住宅用地として売却を開始し、6区画中2区画が売却されました。</p> <p>今後も、売却可能な市有地については積極的に売却を進めていきたいと考えており、これらの情報は市ホームページにも掲載していきます。</p> <p>また、商工会議所や商工会等にも売却の案内を行っていますので、ご関心がある場合は、是非積極的に購入やお問い合わせをいただきますようお願いいたします。</p>
委員	どのような営業活動をされていますか。
事務局	市のホームページや広報誌に加え、商工会議所等への訪問や、民間店舗、銀行等へのチラシ配布を行っています。